日本福祉大学社会福祉学部授業科目履修規程

第1章　総則

（趣旨）

第1条　日本福祉大学社会福祉学部（以下、「本学部」という。）の授業科目の履修に関する事項は、日本福祉大学学則（以下、「学則」という。）によるほか、この規程の定めるところによる。

第2章　卒業・進級条件

（卒業条件）

第2条　本学部を卒業するためには、4年以上在学し、第4学年を修了した上で、別表1に示す所定の単位を修得しなければならない。

2　「全学教育センター科目」は「総合基礎科目」として、卒業単位に算入する。

3　前項の「全学教育センター科目」の内、別表2に定める科目については、別表1に示す本学部において開講される総合基礎科目修得単位数に算入する。

4　第1項の卒業要件を満たして卒業を許可された学生が、卒業延期を希望する場合は、学部教授会の決定により１年間に限り卒業を延期することができる。

第3章　授業科目と履修方法

（授業科目の種類）

第3条　本学部の授業科目、単位および学年配当は、別表3のとおりとする。

（履修方法・条件）

第4条　各科目の履修方法・履修条件は別表3のとおりとする。

2　「医療ソーシャルワーク実習」および「ソーシャルワーク専門実習」については、前項に掲げる条件のほかに別に定める履修規に基づき履修しなければならない。

（資格関係科目･実習期間の制限）

第5条　社会福祉士受験資格、精神保健福祉士受験資格、教員、保育士、スクールソーシャルワーク教育課程認定資格、社会福祉主事任用資格および身体障害者福祉司任用資格の資格を取得するためには、別に定める履修規程に基づき履修しなければならない。

2　前項に掲げる資格の併修に制限をかける場合がある。また、併修をおこなう場合、当該学年次における配属実習は6週間を超えないことを基本とする。なお、この実習

期間の制限は資格取得を伴わない実習科目にも適用する。

3　資格関係科目のうち、課程登録者のみが履修できる科目を資格独自科目という。

第4章　履修登録

（履修登録）

第6条　授業科目を履修し単位を修得するためには、毎学年の所定の期間に履修登録をしなければならない。

2　前項の規定にもかかわらず、後期の所定の期間に年間履修単位数の範囲内で履修登録の修正を行えるものとする。ただし、通年開講科目の履修登録の修正は行えないものとする。

3　後期復学生および年度当初に履修登録を行わなかった者は前項の期間に後期開講科目に限り履修登録を行えるものとする。

4　病気、その他やむをえない理由により所定の期間に履修登録できない場合は、直ちに届け出て指示を受けなければならない。

（クラス登録）

第7条　履修登録に先立ちクラス登録を必要とする科目は別表3のとおりとする。クラス登録を行なわない場合は履修登録ができない。

（年間履修単位）

第8条　学年ごとの履修登録単位数の上限は別表4のとおりとする。

（履修の制限）

第9条　既に単位を修得した科目と同一または類似とみなされる科目は履修することができない。

2　前項にも関わらず、「不合格」「棄権」の評価が確定している科目の再履修を認めないことがある。再履修を認めない科目は別に定める。

3　上級学年配当科目は履修することができない。

4　同一時限に同時に開講される複数の科目を履修することはできない。

5　科目により、履修者の制限をすることがある。その場合は、毎年度具体的に明示する。

第5章　所属学部以外に開講される科目の履修

(履修の許可・範囲・条件)

第10条　所属学部以外で開講されている授業科目の内、当該科目の開講学部が認めた科目を履修することができる。

2　所属学部以外の学部で開講されている授業科目は、第2学年次より履修すること

ができる。

3　所属学部以外の学部で開講されている授業科目を履修する場合の配当年次は、当該科目が開講されている学部の配当年次に従う。

4　所属学部で開講されている科目と同一とみなされる授業科目は履修することができない。

5　キャンパス間移動を伴う履修については、連続する時限で履修することはできない。

6　所属学部以外に開講される履修許可科目は、毎年度提示する。

7　資格課程に開設された資格独自科目を履修する場合は、当該資格課程登録者のみが履修することができる。

(修得可能単位数)

第11条　前条により修得できる単位は、第7項の資格独自科目の単位を除き、他の大学または短期大学において修得した単位を含めて、60単位を限度として卒業単位に算入する。

2　本学部に入学または編入学・転入学・転籍を許可された者が、従前の大学等で既に履修した授業科目及びその修得単位を、本学部における授業科目の履修により修得したものとして認定を受ける場合は、その認定単位数も前項の卒業単位算入限度に含めるものとする。

第6章　留年生・復学・再入学者の履修条件

（4年留年生の履修条件）

第12条　第4学年に留年した学生の履修条件は留年後所属した第4学年の履修条件による。

2　第4学年に留年した者が、前期終了後に卒業条件を充足した場合、本人の申し出により前期卒業を認める。

（復学・再入学生の履修条件）

第13条　復学および再入学した学生の履修条件は、新たに所属する学年の履修条件による。

第7章　授業

（授業の形態）

第14条　本学部における授業は、講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかにより、またはこれらの併用により行うものとする。

2　第１項の授業のうち、全講の過半数を教室において直接教授するものを「対面授業」という。

3　第１項の授業のうち、全講の過半数を学則25条に定める「多様なメディアを高度に利用して行う授業」にて教授するものを「メディア授業」という。

4　前項にいう「メディア授業」を、次の各号のとおり区分する。

（1）動画像データの視聴及び課題添削と質疑応答等を組み合わせて遠隔で実施する「オンデマンド授業」

（2）Webビデオ会議システムを活用して同時双方向に遠隔で実施する「同時双方向型授業」

5　授業の形態は、その開講期間に応じて以下の各号のとおり区分する。

（1）　通常授業は、通年、または半期、四半期で開講する。時間割は年度はじめに発表する。

（2）　集中授業は、集中授業期間に連続して開講する。集中授業期間、科目、日程は年度はじめに発表する。

（3）　補講は、休講等やむをえない事情で授業が予定通り終了しない場合、所定の補充授業期間に実施する。補講期間は年度はじめに発表し、科目、日程はその都度掲示で発表する。

（授業の変更）

第15条　年度途中、やむをえない事情で、授業の日程や教室を変更する場合がある。変更についてはその都度掲示する。

（授業への出席）

第16条　各科目の授業について、試験規程第7条に定める受験資格に必要な出席回数を満たしていない場合は、単位認定試験の受験資格を失う。

第8章　試験および成績発表

（試験）

第17条　学則31条に基づく試験については、別に定める「日本福祉大学試験規程」による。

（成績発表）

第18条　成績の発表は、大学の指定する時期に行う。

（成績評価等）

第19条　成績は次の基準により評価を行い、60点以上を合格とする。

S（100～90点）　A（89～80点）　B（79～70点）

C（69～60点）　D（59点以下）

2　前項にもかかわらず、一部の科目についてはG（合格）・D（不合格）により判定

することがある。

3　編入生、転入生および転籍生の従前の大学・学部等における修得単位の認定はN（認定）とする。

4　試験規程第7条に定める受験資格の要件を満たしていない場合及び試験を受験しなかった場合は、K（棄権）とする。

5　修得単位数及び学則第36条2項に定めるGPAに照らして、学業不振または学業継続が困難な学生に対して、学部は必要な学修指導または警告を行う。

6　前項に定める学修指導と警告の基準及び手続は別に定める。

第9章　実習費

（実習費）

第20条　実習科目については、履修にあたり別途実習費を徴収する場合がある。

第10章　規程管理

（規程の所管課室）

第21条　本規程は、美浜事務室が所管する。

（規程の改廃）

第22条　本規程の改廃は、社会福祉学部教授会の審議結果の進達を受けて、学長が決定する。

附　則

1　この規程は、1996年4月1日より施行する。

2　この規程は、1997年4月1日より改正施行する。

3　この規程は、1998年4月1日より改正施行する。

4　この規程は、1999年4月1日より改正施行する。

5　この規則は、2000年4月1日より改正施行する。

6　この規程は、2001年4月1日より改正施行する。

7　この規程は、2002年4月1日より改正施行する。

8　この規程は、2003年4月1日より改正施行する。

9　この規程は、2004年4月1日より改正施行する。

10　この規程は、2005年4月1日より改正施行する。

ただし、2003年度入学世代以前の学生の開講科目については従前のとおりとする。

11　この規程は、2006年4月1日より改正施行する。

12　この規程は、2007年4月1日より改正施行する。

13　この規程は、2008 年 4 月 1 日より改正施行する。
14　この規程は、2009 年 4 月 1 日より改正施行する。
15 この規程は、2010 年 4 月 1 日より改正施行する。
16　この規程は、2011 年 4 月 1 日より改正施行する。
ただし、第 2 条、5 条および 9 条ならびに旧規程における第 3 条および 14 条は、2010 年度以前の 1 年入学生および 2011 年度以前の編・転入生については従前のとおりとする
17　この規程は、2012年4月1日より改正施行する。
18　この規程は、2013年4月1日より改正施行する。
19　この規程は、2014年4月1日より改正施行する。
20　本規程は、2015年4月1日から改正施行する。
21　本規程は、2016年4月1日より改正施行する。
22　本規定は、2017年4月1日より改正施行する。
23　本規程は、2018年4月1日より改正施行する。ただし2017年4月1日1年次入学生より適用する。なお別表2については2017年4月1日1年次入学生については従前のとおりとする。
24　本規程は、2019 年 4 月 1 日より改正施行する。ただし別表 2 の「ヒューマンケアのための多職種連携」、および別表 3 の「キャリア形成支援Ⅰ」「キャリア形成支援Ⅱ」については、2017 年度 1 年次入学生へ遡って適応する。
25　本規程は、2020 年 4 月 1 日より改正施行する。ただし別表 3 の「地域マネジメント実践Ⅲ」については、2017 年度 1 年次入学生へ遡って適応する。
26　本規程は、2021 年 4 月 1 日より改正施行する。
27　本規程は、2022 年 4 月 1 日より改正施行する。
28　本規程は、2023 年 4 月 1 日より改正施行する。
29　本規程は、2024 年 4 月 1 日より改正施行する。

別表１　卒業条件

<table>
<tr><th>授業科目区分</th><th>総合基礎科目</th><th>専門科目</th></tr>
<tr><td rowspan="2">卒業条件</td><td>■本学部において開講される総合基礎科目から、必修科目（8単位）を含み28単位以上修得していること
必修科目
「フレッシュマン・イングリッシュⅠ-1」（1単位）
「フレッシュマン・イングリッシュⅠ-2」（1単位）
「フレッシュマン・イングリッシュⅡ-1」（1単位）
「フレッシュマン・イングリッシュⅡ-2」（1単位）
「情報処理演習Ⅰ」（2単位）
「ふくしとフィールドワーク」(2単位)</td><td>■本学部において開講される専門科目から、必修科目（8単位）を含み66単位以上修得していること
必修科目
「社会福祉原論Ⅰ」（2単位）
「社会福祉原論Ⅱ」（2単位）
「社会福祉専門演習Ⅱ」（4単位）</td></tr>
<tr><td colspan="2">■総合基礎科目と専門科目あわせて、総計で124単位以上を修得していること（本学部以外の開講科目の履修により修得した単位を含む）</td></tr>
</table>

備考：外国人留学生入試による入学者は、原則として「日本語と文化Ⅰ－１」、「同Ⅰ－２」、「同Ⅱ－１」、「同Ⅱ－２」、「同Ⅲ－１」、「同Ⅲ－２」、「同Ⅳ－１」、「同Ⅳ－２」を「フレッシュマン・イングリッシュⅠ－１」、「同Ⅰ－２」、「同Ⅱ－１」、「同Ⅱ－２」に替えて履修する。

＊編入学・転入学・転籍生（転専修を除く）は、包括認定により総合基礎科目（必修科目・選択必修科目）の条件を問わない。

別表２　全学教育センター科目の内、総合基礎科目修得単位数に算入する科目

科目名	単位	学年	必選	クラス登録	備考
日本福祉大学の歴史	2	1	選		◆
知多学	2	1	選		◆
こころとからだ	2	1	選		◆
福祉社会入門	2	1	選		◆
視覚障害者支援論	2	1	選		
聴覚障害者の理解と支援	1	1	選		◆
ろう文化と手話	2	1	選		
法入門	2	1	選		
地震と減災社会	2	1	選		◆
スポーツ・文化特講Ⅰ	2	1	選		
スポーツ・文化特講Ⅱ	2	1	選		
海外英語研修	2	1	選		
ヒューマンケアのための多職種連携	2	1	選		◆
知多半島のふくし	2	2	選		◆
ふくしと減災コミュニティ	2	2	選		◆
福祉の力	2	2	選		◆
コミュニケーション力演習	2	2	選	○	
文章作成力演習	2	2	選	○	
国内留学フィールド・スタディⅠ	1	2	選	○	
国内留学フィールド・スタディⅡ	1	2	選	○	
国内留学フィールド・スタディⅢ	1	2	選	○	
ふくしフィールドワーク実践	2	3	選	○	

別表３　開講科目表

社会福祉学部社会福祉学科

①総合基礎科目

科目名	単位	学年	必選	クラス登録	備考
総合演習	4	1	全	指	
フィールド実践演習	4	2	全	指	
法学	2	1	選		
日本国憲法	2	1	選		
哲学	2	1	選		
社会学	2	1	選		
心理学	2	1	選		
福祉政治論	2	2	選		◆
経済政策論	2	2	選		
現代生活論	2	2	選		
社会福祉入門	2	1	全		
ライフデザイン入門	2	1	全		◆
ボランティア論	2	1	選		
宗教学	2	2	選		
死生学	2	3	選		
ジェンダー論	2	2	選		
文学	2	1	選		
コミュニケーション論	2	1	選		
日本史	2	2	選		
外国史	2	2	選		
近現代史	2	1	選		
現代基礎教養	2	3	選		
フレッシュマン・イングリッシュⅠ－１	1	1	必	指	
フレッシュマン・イングリッシュⅠ－２	1	1	必	指	
フレッシュマン・イングリッシュⅡ－１	1	1	必	指	
フレッシュマン・イングリッシュⅡ－２	1	1	必	指	
英語演習Ⅰ	1	2	選	○	
英語演習Ⅱ	1	2	選	○	
言語と文化Ⅰ-1（ﾄﾞｲﾂ）	1	1	選	○	
言語と文化Ⅰ-2（ﾄﾞｲﾂ）	1	1	選	○	

言語と文化Ⅰ-1（中国）	1	1	選	○	
言語と文化Ⅰ-2（中国）	1	1	選	○	
言語と文化Ⅰ-1（韓国・朝鮮）	1	1	選	○	
言語と文化Ⅰ-2（韓国・朝鮮）	1	1	選	○	
情報処理演習Ⅰ	2	1	必	指	
情報処理演習Ⅱ	2	1	全	指	
福祉データ処理演習	2	2	選	○	
スポーツ	2	1	選	○	
健康スポーツ論	2	1	選		
スポーツ研究	2	2	選	○	
海外フィールドワーク	4	1	選		
スウェーデンの社会と福祉	2	3	選		
ふくしとフィールドワーク	2	1	必		◆

②外国人留学生・帰国生徒の特例科目

科目名	単位	学年	必選	クラス登録	備考
日本語と文化Ⅰ－1	1	1	必	指	
日本語と文化Ⅰ－2	1	1	必	指	
日本語と文化Ⅱ－1	1	1	必	指	
日本語と文化Ⅱ－2	1	1	必	指	
日本語と文化Ⅲ－1	1	2	必	指	
日本語と文化Ⅲ－2	1	2	必	指	
日本語と文化Ⅳ－1	1	2	必	指	
日本語と文化Ⅳ－2	1	2	必	指	

③専門科目

科目名	単位	学年	必選	クラス登録	備考
医学概論	2	1	選		
障害者コミュニケーション	2	1	選		
社会福祉原論Ⅰ	2	1	必		
社会福祉原論Ⅱ	2	2	必		
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	2	2	選		◆
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	2	2	選		◆

ソーシャルワークⅠ	2	2	選		
ソーシャルワークⅡ	2	2	選		
ソーシャルワークⅢ	2	3	選		
ソーシャルワークⅣ	2	3	選		◆
社会福祉発達史Ⅰ	2	1	選		
社会福祉発達史Ⅱ	2	2	選		
高齢者福祉論	2	1	選		
障害者福祉論	2	2	選		
障害者福祉論特講	2	4	選		
児童・家庭福祉論	2	1	選		
子ども家庭ソーシャルワーク論	2	4	選		
地域福祉論Ⅰ	2	2	選		
地域福祉論Ⅱ	2	4	選		◆
東アジアの社会福祉	1	3	選		
多文化ソーシャルワーク論	1	3	選		
国際福祉論	2	3	選		◆
司法福祉論	2	3	選		◆
施設福祉論	2	3	選		
社会福祉経営論	2	3	選		
保健医療と福祉	2	3	選		
介護技術演習	2	2	選	○	
医療福祉論Ⅰ	2	2	選		
医療福祉論Ⅱ	2	3	選		
精神保健福祉論	4	3	選		
公共政策学	2	3	選		
地方自治論	2	2	選		◆
福祉行政と経済	2	1	選		
行政学	2	2	選		
福祉財政論	2	3	選		
福祉政策論	2	3	選		
社会福祉調査論	2	1	選		
社会福祉関係法	2	3	選		
福祉法学	2	3	選		
民法	4	2	選		
行政法	4	2	選		◆

労働法	4	3	選		
発達心理学	2	2	選		
臨床心理学	2	2	選		
老年心理学	2	3	選		
生涯学習論Ⅰ	2	2	選		
生涯学習論Ⅱ	2	3	選		
障害者心理学	2	3	選		
家族援助論	2	3	選		
家族と地域の社会学	2	1	選		◆
子どもの文化・遊び研究	2	1	選		
社会的養護	2	2	選		
介護福祉論	2	2	選		
ソーシャルワーク外書講読	2	3	選		
教育原理	2	2	選		
保育原理Ⅰ	2	2	選		
保育原理Ⅱ	2	2	選		
福祉労働論	2	2	選		
ヒューマンケア論	2	2	選		
災害ソーシャルワーク	2	2	選		
障害児心理学	2	3	選		
子どもの保健	2	2	選		
学童保育論	2	4	選		
経営学	2	2	選		
インターンシップⅠ	1	2	選	○	
インターンシップⅡ	2	2	選	○	
インターンシップⅢ	1	2	選		
インターンシップⅣ	2	2	選		
福祉行政とまちづくり	2	3	選		◆
精神障害リハビリテーション論	2	1	選		
精神保健学Ⅰ	2	1	選		
精神保健学Ⅱ	2	2	選		
倫理学	2	2	選		
保健社会学	2	2	選		
精神医学Ⅰ	2	2	選		◆
精神医学Ⅱ	2	2	選		◆

リハビリテーション医学	2	2	選		
社会福祉データ解析入門	2	3	選	○	
ケアマネジメント論	2	3	選		
ケアマネジメント演習	2	3	選	○	
保健医療福祉論特講	2	2	選		
精神保健領域のソーシャルワークⅠ	2	3	選		
精神保健領域のソーシャルワークⅡ	2	4	選		
精神保健福祉制度論	2	2	選		
精神保健福祉援助演習Ⅰ	1	3	選	指	
精神保健福祉援助演習Ⅱ	2	4	選	指	
精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	1	3	選	指	
精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	2	4	選	指	
精神保健福祉援助実習	5	4	選	指	
ターミナルケア	2	4	選		
医療ソーシャルワーク演習	2	4	選	指	
医療ソーシャルワーク実習指導	1	4	選	指	
医療ソーシャルワーク実習	2	4	選	指	
権利擁護を支える法制度	2	4	選		
キャリアデザイン基礎	2	2	選		
キャリアデザイン特論	2	3	選		
福祉環境論	2	3	選		
福祉ＮＰＯ論	2	2	選		
公的扶助論	2	1	選		
社会保障論Ⅰ	2	1	選		
社会保障論Ⅱ	2	3	選		
政策形成実践特講Ⅰ	1	1	選	○	
政策形成実践特講Ⅱ	2	3	選	○	
地域マネジメント実践Ⅰ	2	1	選	○	
地域マネジメント実践Ⅱ	2	2	選	○	
地域マネジメント実践Ⅲ	2	3	選	○	
国際ソーシャルワーク研究	2	2	選		
スクールソーシャルワーク論	2	3	選		
福祉教育論	1	3	選		
行政福祉特別講義	2	2	全		
子ども福祉特別講義	2	2	全		

医療福祉特別講義	2	2	全		
人間福祉特別講義	2	2	全		
在学ギャップイヤー	10	3	選		
ソーシャルワーク演習Ⅰ	1	2	選	指	
ソーシャルワーク演習Ⅱ	1	2	選	指	
ソーシャルワーク演習Ⅲ	2	3	選	指	
ソーシャルワーク演習Ⅳ	1	3	選	指	
ソーシャルワーク実習	5	3	選	指	
ソーシャルワーク実習入門	1	2	選	指	
ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1	2	選	指	
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	2	3	選	指	
ソーシャルワーク専門実習指導	1	4	選	○	
ソーシャルワーク専門実習	2	4	選	○	
実習指導支援演習	2	4	選	○	
社会福祉援助技術現場実習（教職）	2	3	選	指	
社会福祉専門演習Ⅰ	4	3	全	○	
社会福祉専門演習Ⅱ	4	4	必	○	
卒業論文	2	4	全		

④自由科目（資格独自科目含む）

科目名	単位	学年	自由･資格	クラス登録	備考
ビジネススキル	2	2	自		
キャリア形成支援Ⅰ	2	1	自		
キャリア形成支援Ⅱ	2	2	自		
社会福祉特別講座Ⅰ	1	3	自		
社会福祉特別講座Ⅱ	2	4	自		
社会福祉特別講座Ⅲ	2	4	自		
教育原理（中高）	2	2	教職		
教職入門（中高）	2	2	教職		
教育制度論（中高）	2	2	教職		
教育と発達の心理学（中高）	2	2	教職		
特別支援教育概論（中高）	2	3	教職		
教育課程論（中高）	2	2	教職		
総合的な学習の時間の指導法（中高）	2	3	教職		

特別活動方法論（中高）	2	3	教職		
教育方法論（情報通信技術の活用含む）（中高）	2	2	教職		
生徒・進路指導論（中高）	2	3	教職		
教育相談の基礎と方法（中高）	2	2	教職		
教育実習Ⅰ（中高・事前事後）	1	3･4	教職		
教育実習Ⅲ（中高）	2	4	教職		
教職実践演習（中高）	2	4	教職		
福祉科教育法Ⅰ	2	2	教職		
福祉科教育法Ⅱ	2	3	教職		
保育職論	2	2	保育		
保育の心理学	2	2	保育		
子ども家庭支援の心理学	2	2	保育		
子どもの理解と援助	1	2	保育		
子どもの食と栄養演習	2	2	保育	指	
保育・教育課程論	2	2	保育		
保育内容総論	1	2	保育		
保育内容Ａ（からだと健康）	1	2	保育		
保育内容Ｂ（仲間と交わり）	1	2	保育		
保育内容Ｃ（生活と環境）	1	3	保育		
保育内容Ｄ（発達と言葉）	1	3	保育		
保育内容Ｅ（感性と表現）	1	2	保育		
音楽演習	1	2	保育	指	
造形演習	1	2	保育	指	
身体表現演習	1	2	保育	指	
言語表現演習	1	3	保育	指	
乳児保育論	2	2	保育		
乳児保育演習	1	2	保育	指	
子どもの保健演習	1	2	保育	指	
障害児保育演習	2	3	保育	指	
社会的養護内容演習	1	3	保育	指	
子育て支援演習	1	3	保育	指	
保育実習Ⅰ-Ａ	2	3	保育	指	
保育実習Ⅰ-Ｂ	2	4	保育	指	
保育実習指導Ⅰ-Ａ	1	3	保育	指	
保育実習指導Ⅰ-Ｂ	1	4	保育	指	

保育実践演習	2	4	保育	指	
保育実習Ⅱ（保育所）	2	4	保育	指	
保育実習Ⅲ（施設）	2	4	保育	指	
保育実習指導Ⅱ（保育所）	1	4	保育	指	
保育実習指導Ⅲ（施設）	1	4	保育	指	
スクールソーシャルワーク演習	1	4	SSW	指	
スクールソーシャルワーク実習指導	1	4	SSW	指	
スクールソーシャルワーク実習	2	4	SSW	指	
教職入門（中高）	(2)	2	SSW		
教育制度論（中高）	(2)	2	SSW		
教育と発達の心理学(中高)	(2)	2	SSW		
特別支援教育概論（中高）	(2)	3	SSW		
教育相談の基礎と方法（中高）	(2)	2	SSW		
生徒・進路指導論（中高）	(2)	3	SSW		

備考:単位数（）は再掲を示す。

「必選」欄

必：必修科目

全：全員履修科目※

自：自由科目（卒業単位には組み入れない）

資：資格独自科目（卒業単位には組み入れない）

※ 全員履修科目とは当該学年で全員が履修しなければならない科目

「クラス登録」欄

○：クラス登録が必要な科目（クラス登録をしないと履修出来ない科目）

指：大学がクラスを指定する科目（必修・全員履修・資格必修のクラス制科目等）

「備考」欄

◆：第14条３項に定める「メディア授業」

別表４　年間履修単位

	4年在学
1年次	48単位以内
2年次	48単位以内
3年次	48単位以内
4年次	48単位以内

■　上記の制限の中には、所属学部以外の開講科目の履修・単位互換による履修を含むが、資格独自科目は含まない。